

北播磨総合医療センター先端医療センター及び 診療部各センターの設置運用について

開院後2年半が経過し、入院・外来ともに順調に稼働しており、今後、さらに当院の高度先進医療やチーム医療を推進するため、またその魅力を患者さんや連携医療機関に分かりやすくアピールするために4月からセンター制を導入します。

1 先端医療の推進（先端医療センター）

次のとおり2部門の先端医療センターを設置し、先端医療センターの各部門にそれぞれセンター長を配置し、高度先進医療の更なる推進を図ります。

- (1) 設置時期 平成28年4月1日～
- (2) センターの概要

センター名	概要
先端医療センター (不整脈治療部門)	①心臓内にカテーテルを挿入し不整脈のもととなる異常な部分を高周波電流で焼灼するアブレーション治療(約10例/月)の実施体制の充実を図ります。 ②センター長 吉田明弘 循環器内科部長 (元神戸大学循環器不整脈先端治療学部門准教授) ③関係スタッフ 医師、看護師、臨床工学技士、診療放射線技師
先端医療センター (ロボット手術部門)	①平成27年3月より実施している最先端の手術支援ロボット「ダヴィンチ」による前立腺悪性腫瘍手術(約4例/月)及び本年4月に保険適用される腎臓を部分切除する腎がん治療の実施体制の充実を図ります。 ②センター長 田中一志 泌尿器科部長 (前神戸大学泌尿器先端医療開発学部門特命教授) ③関係スタッフ 医師、看護師、臨床工学技士

2 チーム医療の推進（臓器別・疾病別センター制）

開院以来チーム医療に取り組んでいますが、更にチーム医療を推進するために一つの臓器や疾病の治療に関して内科系・外科系の診療科が同じ立場で体制を組むセンター制を導入します。センターは、次の6分野とし、各センターにセンター長、副センター長（血液浄化センターは配置なし）を配置し、外来ブロックに各センターの受付窓口を設け、地域の医療機関から紹介患者さんの円滑な受入を図ります。

(1) 設置時期 平成 28 年 4 月 1 日～

(2) 各センターの概要

センター名	概 要
消化器センター	<p>①消化器系疾患に対して最小の負担で最大の治療効果をあげるため、消化器内科と外科が一体となり、精密な内視鏡検査による病気の早期発見から、早期がんの内視鏡治療、また手術でもより低侵襲な腹腔鏡下手術に取り組みます。</p> <p>②センター長 黒田大介 副院長兼外科・消化器外科総括部長 副センター長 佐貫 毅 消化器内科部長</p> <p>③主な関係診療科 消化器内科、外科、消化器外科、放射線診断科、放射線治療科、血液・腫瘍内科、病理診断科</p>
循環器センター	<p>①最新式の心血管造影装置を備えた血管造影室、ハイブリッド手術室に加え、多列 CT、心臓シンチグラフィ装置などにより、十分な経験を有した各分野の専門医が中心となり循環器疾患の最先端の診断と治療を提供します。</p> <p>②センター長 栗野孝次郎 副院長兼循環器内科総括部長 副センター長 顔 邦男 外科診療部長兼心臓血管外科部長</p> <p>③主な関係診療科 循環器内科、心臓血管外科、放射線診断科、形成外科、救急科</p>
脳卒中・神経センター	<p>①脳卒中・神経センターでは脳卒中などの脳血管障害、脳腫瘍などの機能障害、パーキンソン病・認知症などの神経変性疾患、重症筋無力症などの免疫疾患、末梢神経疾患などの感染性疾患など、さまざまな脳・脊髄・神経疾患の診療を専門的に実施します。</p> <p>②センター長 三宅 茂 脳神経外科部長 副センター長 濱口浩敏 神経内科部長</p> <p>③主な関係診療科 神経内科、脳神経外科、リハビリテーション科</p>
糖尿病センター	<p>①医師、看護師、薬剤師、検査技師、栄養士、理学療法士らの専門スタッフが糖尿病サポートチームを構成し、糖尿病のさまざまな合併症の評価と予防、高血糖性緊急疾患の入院治療や糖尿病のことを適切に理解していただくための「糖尿病学習入院」など患者さんの病状にもっとも適した糖尿病治療を行います。</p> <p>②センター長 原 賢太 糖尿病・内分泌内科部長 副センター長 西山勝人 内科、老年内科部長</p> <p>③主な関係診療科 糖尿病・内分泌内科、内科、老年内科、循環器内科、神経内科、腎臓内科、リハビリテーション科、眼科、形成外科、皮膚科、心臓血管外科、歯科口腔外科、もの忘れ外来 など</p>
血液浄化センター	<p>①血液透析患者の入院透析、オフライン血液濾過透析、LDL 吸着療法、腹水濾過濃縮再静注法、白血球除去療法、血漿交換療法など、多岐にわたる血液浄化療法を施行します。</p> <p>②センター長 北村 謙 腎臓内科医長</p> <p>③主な関係診療科 腎臓内科、透析患者の入院に対応される診療科、血液浄化療法を治療選択として使用される診療科（形成外科、消化器内科、リウマチ・膠原病内科、神経内科、血液・腫瘍内科など）</p>
重症虚血肢センター	<p>①非常に難治性で生命予後も悪い、糖尿病、透析患者の末梢動脈疾患による足潰瘍、“重症虚血肢”について、多科にわたる適切で迅速な治療を実施します。</p> <p>②センター長 藤井美樹 形成外科主任医長 副センター長 中川雅之 循環器内科主任医長 副センター長 山田章貴 心臓血管外科主任医長</p> <p>③主な関係診療科 形成外科、循環器内科、心臓血管外科、放射線診断科、糖尿病・内分泌内科、腎臓内科、整形外科、リハビリテーション科</p>